



祝 辞

新潟青陵大学ご卒業の皆さん、同じく大学院ご修了の皆さん、誠におめでとうございます。そして、今日巣立っていかれる方、お一人おひとりを手塩にかけてお育ていただいた皆さま、おめでとうございます。皆さまがこれまで発揮された愛のお力に改めて敬意を表します。

今日、青陵から巣立っていく皆さん、皆さんの学園生活が始まってから2年ほどは新型コロナウイルス感染期と重なり、窮屈でしたね。でも、後半の2年は学園生活を謳歌しつつ、看護、福祉心理の分野で真剣に、粘り強く勉学に励み、高い専門性を身につけてくれました。

青陵の教職員たちも「青陵プロミス」で謳う「自分だけの専門性を『活かす力』、変わりゆく社会を『生きる力』。この二つの力を育む学び」を日々実践することに努め、皆さんの育ちをサポートしたと思っています

コロナ禍以外でも大変なことがありました。昨年元旦、能登半島地震が起き、新潟でも液状化で多くの家屋に被害が出、大変でしたね。そんな中、市内の被災家屋の泥出しや、能登の被災地でボランティア活動をされた方もいました。ボランティア活動、地域での活動は本学園の誇るべき伝統です。そこで育んだ思い、培ったネットワークをこれからの人生に活かしてください。

大変と言えば世界もそうです。米国のトランプ政権が次々と打ち出す政策に振り回されています。これからも「予測不能な時代」が続くでしょう。そんな時代だからこそ、先ほど申し上げた「変わりゆく社会を『生きる力』」が大きな意味を持つと思います。フェイクニュースが溢れ、生成AIやロボットと共存していく「変わりゆく社会」をたくましく生き抜いていってください。

一方、予測不能な時代を生きるには、家族や信頼できる仲間との絆が欠かせませんし、地域とのつながりも重要です。本学園では新年度、様々な地域課題・社

会課題の解決を目指す「ソーシャルイノベーション推進機構」を開設します。卒業しても皆さんは青陵の仲間、「アルムナイ」なのですから、社会で活躍するだけでなく、地域課題解決の輪にも加わってほしいと思います。

卒業されても、青陵はいつまでもあなたたちの「ホーム」です。困ったことや行き詰まることがあったら「青陵アルムナイ」の扉を遠慮なくたたいてください。必ずや新しい生き方・働き方・価値観へのヒントに出会えるはずです。

最後に一言、お願いを致します。人間は誰しも、一人で大人になれる人はいりません。あなたたちは全員、ご家族をはじめ多くの方に育てられて、今日を迎えているのです。ですから、この卒業式・修了式を契機に、これまでの自らの来し方を振り返り、ここまで育ててくれた方々に感謝する—そんな時間を持つてほしいのです。それが新たな人生のスタートを切るスイッチにもなるでしょう。

皆さん一人ひとりの人生が幸多きものになるようご祈念申し上げ、饞の言葉といたします。本日は、誠におめでとうございます。

2025 年 3 月 18 日

新潟青陵学園
理事長 篠田 昭